

中期目標・中期計画

(第二期)

2020年度 中期目標・中期計画

2020年5月27日

愛知工科大学自己点検・評価委員会
大学評価企画 IR 室

中期目標	中期計画	目標を達成するための措置	2020年度実施予定事項
<p>中期目標の期間 平成28(2016)年4月1日から令和4(2022)年3月31日までの6年間</p> <p>学園の目標も意識し、推進を図る 学園の目標 1. 教職員の意識、行動のさらなる活性化 2. 社会貢献のための新たな事業検討 3. 国際化の取り組み 4. 広報力の強化 5. 経営の効率化 6. 目標、プロセスの見える化の推進</p> <p>平成22(2010)年4月1日から平成28(2016)年3月31日までの6年間の中期計画を基本的に踏襲し、さらなる教育改革の推進を図り、地域に貢献する大学を目指していく。</p>	<p>平成22(2010)年4月1日から平成28(2016)年3月31日までの中期6カ年計画は毎年の計画と実行結果の振り返りによる継続並びに新規事項遂行のPDCAを進めてきた。</p> <p>平成2(2016)8年4月1日からの6カ年計画は、先の6カ年計画を基本に中期目標の見直しを図り、継続項目や新規事項の設定を行った。</p>	<p>この項の記載は、中期目標・中期計画の6年間に目標を達成するための措置として掲げたものである。</p>	
I 大学の基本的な目標			
<p>本学は学則第1条に「本学は、教育基本法と学校教育法に基づき、工業技術に関する知識と学術を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、社会から喜ばれる知識技能と歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、もって地域社会の教育・学術文化ならびに産業の発展に寄与することを目的とする。」と定め、その建学の精神と使命・目的に沿って人材育成及び研究活動を行い地域に貢献する大学として魅力ある大学づくりを進めていく必要がある。</p>	<p>教育改革を全力で推進し、教育力において信頼される大学となるために、授業改善等に全教員が取り組む。</p>	<p>定員充足が最も重要なこと。このために教育改革の実績を出し、企業並びに高校から評価される大学となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度入学者225名と、安定した定員充足を目標とする。 ・普通科高校からの入学者増を目指す。そのために、高校訪問対象校の絞り込みと訪問者の選別を行う。(愛知県内普通科高校) ・各学科の入学定員を満たす。 ・2020年度入学生のプレースメントテスト結果を受け、成績上位が増えた学生に対応した、できる学生を考慮した教育を検討し実行する。
<p>愛知工科大学工学部は教育改革を推進し、意欲・人間性・能力の3要件をバランス良く向上した総合力と、企業連携教育を通じた実践力を兼ね備えた技術者育成に努める。総合力と実践力の連携のもと、モノづくり現場の期待に対し、必要とされるモノづくりの設計・制作ができるエンジニアとして貢献することを目標とする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・IoTモノづくりコース向けカリキュラムの着実な運用と、3年生でのIoTモノづくり実践実習の確実な推進をする。 ・2021年度IoTモノづくりコース希望者への説明会を実施する。
II 教育の質の向上に関する目標			
1. 教育の成果に関する目標			
<p>意欲・人間性・能力を身につけることでの総合力と企業連携教育を通しての実践力の有機的な連携のもとにモノづくりの設計・制作を考え、実行し、モノづくり現場に貢献</p>	<p>(1) FPBL、EPBLに基づくカリキュラムの推進と教育成果の実質化を図る (2) 多様な資質を有する入学生に対し、教育システムを整備し教</p>	<p>○共通教育、専門教育におけるカリキュラムにてモノづくりの設計・製作・運用までのライフサイクルを意識して取り組め人材育成教育のあり方や実質化を検討し、推進す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工学基礎力試験を始め、学生のカルテを作る。 ・2018年度より開始した工学基礎力評価を継続する。入学生におよび2年生対して、数学的探究力、物理的思考

<p>できる技術者とする。また、大学院については、学部の教育方針を受け、発展的な考え方のもとに高度な技術探究ができるように導く。</p>	<p>育効果を高める。(学) (3) 環境に基盤を置き学部の学びとつながる高度な技術者教育体系の見直しを図る。(院) (4) 社会的要請の強い分野の高度専門職業人の育成に特化した修士課程の充実を図る。(院) (5) 社会人学生の教育サービスを充実させる施策を具体化する。(院)</p>	<p>る。 ○習熟度に応じた学びの体制を推進する。 ○大学院教育体系の見直しを図る。 ○学びに即した地元企業への就職と就職率向上を図る。</p>	<p>力、心理的特性評価を実施する。 ・学修状況の評価指標としてのルーブリックの運用をすすめていく。 ・成長モデルに即した専門力の評価方法の検討・準備する。4年生向けの工学基礎力試験を準備する。 ・CAP22の導入を行い円滑な運用を図る。 ・学生自らの主体的な学習行動を支援する大学院特別進学プログラムを実施していく。 ・就職の質の向上。上場企業への内定者を20%以上となるようにする。</p>
--	---	---	--

2. 教育内容等に関する目標

<p>3ポリシーのもと、意欲・人間性・能力をバランス良く修得した総合力を身につけ、かつ、企業との連携教育による実践力を兼ね備えた学生を育てる。そして、FPBL、EPBLを通してモノづくりの必要を知り、必要に応えモノづくりの設計・制作ができるようになる教育方法を設計・推進する。</p>	<p>(1) 多様な入学者選抜方法により適正な学生数を確保し本学の教育目標を実践する。(学) (2) 編入学生、社会人学生等を積極的に受入れ充実した教育を実践する。(学) (3) 入学生の資質の変化と多様化した学習需要に対応するカリキュラムを開発する。(学) (4) 学習意欲を喚起する学習環境を整備する。(学) (5) 厳格な成績評価を行って教育の質の向上を図る。(学) (6) 学部と大学院のカリキュラムの持続性の向上を図る。(院) (7) 学習意欲を高める成績評価システムを整備する。(院)</p>	<p>○定員充足に向けたオープンキャンパスを活用して、本学受験につなげる施策の推進を図る。 ○成長感を持てる満足度の高い授業の推進を図る。 ○学ぶ事の意味や努力する事の意味を習得させる。</p>	<p>・入試の質の向上、受験生から注目されるような入試を実施する。 ・2021年度入学者選抜方法等について、変更を行うことを進める。 ・共通テキスト化した「基礎数学」に対して、その内容を入学生に合わせて検討し、改善を図る。他の科目についても同様な科目一本化の是非を検討する。 ・ディプロマサプリメントを作成する。</p>
--	--	---	---

3. 教育の実施体制に関する目標

<p>大学の教育理念に基づいた人材を育成するために、幅広い教育研究分野の連携体制をつくり、総合力の発揮ができる教育体制を推進するとともに教育の成果に関する目標を効果的に達成するために必要な教員配置を行う。</p>	<p>(1) 総合力と実践力の修得に向けた、教育体制の強化に向け教員配置を整備する。 (2) 教育設備や図書館を整備し、アクティブラーニング教育の推進を図る。 (3) ICTを活用した授業運営のさらなる推進を図る。</p>	<p>○教員の補充計画及び補充する教員の資質条件等の整理と採用を推進する。 ○教務システムでの情報共有化の推進</p>	<p>・電子制御・ロボット工学科、情報メディア学科、基礎教育の9月着任予定の教員補充を行う。 ・学生の学修習得状況を把握するポートフォリオの運用を進める。</p>
--	---	--	--

III 研究の質の向上に関する目標

1. 研究水準及び研究成果等に関する目標

<p>先端的な研究分野を含めた様々な専門分野において、持続的・高度な研究を行い、研究活動の活性化と研究水準の向上を図る。</p>	<p>(1) 研究に関する目標を達成するため、定期的に研究水準及び成果の検証を行い、研究の質の向上を図る。 (2) 先見性・独創性のある研究を発掘し、地域の研究拠点となることを目指す。 (3) 研究成果は、教育にフィードバックするとともに産業技術の発展及び地域社会に還元する。 (4) 研究に関する多面的な評価システムを構築し、研究内容や成果の点検・評価・改善を行う。</p>	<p>○各研究室の情報発信を推進する。</p>	<p>・3学科間の連携を深めるため、研究センターを設置し、研究活動を統合していく。 ・大学ホームページにある「教員紹介」のページとresearch mapをリンクし、各教員の研究情報充実させる。</p>
--	---	-------------------------	--

2. 研究実施体制・研究環境等の整備に関する目標

<p>(1) 社会のニーズに応じた研究の展開や新領域の創出を可能とするため、研究実施体制や研究支援体制の柔構造化を図る。</p> <p>(2) 研究施設設備の効率的・効果的な利用及び計画的な整備を図り、研究環境の充実・強化と研究の場の提供を行う。</p>	<p>(1) 教員の弾力的な役割分担により教育研究の活性化を図る。</p> <p>(2) 科学技術の教育と研究を支援するため、競争的研究資金の獲得を推進する。</p> <p>(3) 学内の研究費等の配分には、研究活動や研究実績等適切に反映させる。</p>	<p>○教育改革の推進に支障をきたさないように体制の充実に図る。</p> <p>○教育改革・特別研究推進プロジェクト経費の有効活用を図る。</p> <p>○公開講座等の具体化を図る。</p>	<p>・外部資金獲得の推進（科研費（未採択者）、共同研究、受託研究の増加）させる。</p> <p>・新たに着任した教員への教育改革・特別研究推進プロジェクト経費の重点配分を行う。</p> <p>・2021年度科研費応募説明会を開催する。</p>
---	---	---	--

<p>IV 学生への支援等に関する目標</p> <p>1. 相談・助言・支援に関する目標</p>			
<p>学生が心身ともに健康を保ち、十分な学習意欲を維持できるように学生の健康相談、生活相談及び就職活動に対する具体的指導や情報の提供など、学生のニーズに対応した支援を行う。</p>	<p>(1) 学生への経済的支援を推進する。</p> <p>(2) 学生に対する学習・生活・相談等の支援、サービス機能の充実に図る。</p> <p>(3) 学生の就職支援を推進し、職業観を涵養し、職業意識を啓発する。</p> <p>(4) キャンパス環境の向上を図り、課外活動への支援を強化する。</p> <p>(5) ハラスメント研修等を推進し、健全な環境作りを図る。</p>	<p>○外部機関との連携も視野に入れ、支援体制の充実に図る。</p> <p>○学生への支援、サービス機能について、担任会、学生委員会を有効に活用し、充実に図る。</p> <p>○SD研修等の機会と充実に図る。</p>	<p>・修学支援新制度に対する大学の要件（機関要件（継続））の申請を行う。</p> <p>・コロナ禍による世帯収入の減少による修学継続困難者に対して、授業料減免制度の紹介を積極的に行う。</p> <p>・各教員が学科内の学生の状況把握、共通理解のために担任会は継続推進する。</p>

<p>V 社会との連携、国際交流等に関する目標</p> <p>1. 地域社会との連携に関する目標</p>			
<p>蒲郡市、幸田町との連携を図った施策を推進し、大学の知的資源の有効活用を測るとともに、情報発信を展開する</p>	<p>(1) 地域貢献を目的とする教育研究を充実し、成果を地域社会に還元する。</p> <p>(2) 地域への積極的な貢献のため、学内の教育研究施設を有機的に組織化し、生涯学習の充実、地域環境改善、地域産業の活性化に寄与する。</p>	<p>○既存の体制を基本に、地域との連携施策の充実に図る。</p>	<p>・後期に開講される「地域振興プログラム」を推進する。</p> <p>・IoTモノづくりコース選択学生に対して、幸田町からの受託研究を進める。</p>
<p>2. 産学連携に関する目標</p>			
<p>三河中央「人・モノ・地域づくり」コンソーシアムの推進を図り、地元のモノづくり基盤の強化を図り、地元の人材育成や地元への還流の拠点としての働きを推進する。</p>	<p>(1) コンソーシアムの人材育成専門部会、大学活用・地域連携専門部会を推進し、地域との連携を強化する。</p> <p>(2) 産業振興、環境保全に貢献し地域社会の発展に寄与する研究を推進する。</p>	<p>○コンソーシアムのさらなる充実に図る。</p>	<p>・人材育成専門部会を中心に地域の高校との連携を深め、協力・支援を推進する。</p>
<p>3. 国際交流に関する目標</p>			
<p>外国の大学等との学術交流、留学生の受入れ、本学学生の海外派遣等を通じて国際社会との人的交流を推進する。</p>	<p>(1) 外国の大学等との短期留学等の交流を通して、関係を作る。</p> <p>(2) 留学生の受け入れと派遣体制を整備する。</p> <p>(3) 単位互換制度の検討を進める。</p>	<p>○学園本部の国際交流室や姉妹校と連携し、受け入れ等の充実に図る。</p>	<p>・英語学研修参加の推進をする（夏と春）。</p> <p>・学園設置の日本学校からの進学者受け入れを進める。</p> <p>・国際交流センター職員を配置したことにより、留学生のサポート体制を充実させる。</p>

<p>VI 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1. 業務運営体制の改善に関する目標</p>			
<p>理事長及び学長のリーダーシップのもと効率的で質の高い</p>	<p>(1) 全教職員の大学運営に携わる能力を効率よく最大限に発揮</p>	<p>○委員会等の体制の効率化と適材適所の配置を図る。</p>	<p>・IR室業務の質的向上を図る（大学の現状に関する情報</p>

業務運営体制を構築するとともに迅速・適切な意思決定が行える組織体制を整備する。	し得るように、学内各組織の役割と責任を明確にし、効率化・簡素化を行い、その構成員が一致して協力できるわかりやすい体制に改善する。 (2) 事務処理の効率化・簡素化等について、通常的な事務処理を中心に、これまで以上に簡素化等を進める。 (3) 若手事務職員の能力開発に資するため、研修機会の提供等、計画的な育成方策を策定する。		の収集から、収集・分析、情報の提供へ)。 ・IR業務の向上を図るため IRer 研修会に参加する。 ・在宅勤務ができるよう情報インフラを整えていく。
2. 事務の効率化・合理化に関する目標			
学生及び教育研究等に対する支援機能の向上と管理運営の効率化を図るため組織体制及び事務処理方法について見直しを行う。	(1) 事務の効率化、合理化を図る観点から、教育研究活動に対する支援体制となる事務組織について、専門性の向上を目指した職員の育成をする。 (2) 重点的な施策に力を注ぐため、通常的な事務処理については、これまで以上に簡素化・省力化を進展させる。	○事務処理への ICT の活用と教職員負担の軽減及び管理経費の削減を図る。	・間接費のさらなる削減に向けた（特に印刷用紙）。
3. 施設設備の整備・活用に関する目標			
大学の発展を見通しつつ、学術の進展や多様化する教育研究に対応した快適な施設環境の整備を図る。	(1) キャンパス及び施設の運用管理・保全の計画的な整備を行い効率的な運用を確立する。 (2) 快適、心地よさを求めたキャンパスアメニティの充実を図る。	○学生がくつろげるキャンパス整備に向けた中期計画の策定を行う。	・喫煙場所からの煙による、受動喫煙とならないようにする。 ・学生がゆったりとした時間を送ることのできる場の設置を検討する。 ・HR 教室設定を見直したことによる、学習環境向上が図れる教室運用を行う。
4. 安全管理に関する目標			
高度な教育研究活動を支障なく行い、安全で安心な教育研究環境を確保するため、安全管理体制の整備を図る。	(1) 安全衛生教育の充実を図り、学生、教職員の安全に対する意識を啓発する。	○継続推進	・年1回防災訓練を行い、大規模災害に備える。 ・教職員への普通救命講習（AEDの使い方、心配蘇生法）の実施を計画する。
VII 財務内容の改善に関する目標			
1. 外部資金その他自己収入の増加に関する目標			
大学の活性化を示すため競争的研究資金、共同研究等の外部資金を獲得するための取り組みを積極的に推進する。	(1) 外部資金等自己収入の増加に努める。 (2) 学内の人的・物的・知的資源の有効利用による自己収入の増加に努める。	○外部資金導入に向けた学内施策の推進と連携を図る。	・2021年度科研費の応募数の増加（10件以上）と採択数の増加を図る。 ・2020年度共同研究、受託研究の件数を増加させる。
2. 効果的・効率的な経費の執行に関する目標			
業務の改善及びコスト意識を持つことによる業務運営の効率化及び合理化を図る。	(1) 管理業務経費の節減を実施するとともに、効率的な大学運営を行い固定的経費の節減を図る。	○各部署の管理業務経費の情報共有化を推進する。	・ペーパーレスによる会議ならびにオンライン会議を開催することにより、配布紙の削減と会議運営の効率化を図る。 ・光熱水費等について、過去を分析、節減を図る。

VIII 社会への説明責任に関する目標			
1. 評価の充実に関する目標			
<p>教育研究活動及び業務運営の改善・効率化に取り組んでいくために自己点検及び評価を定期的に行う。また、第三者等による評価を受けるとともに評価結果に関しては速やかに改善に活用し積極的に公表する。</p>	<p>(1) 教職員の諸活動の活性化及びその評価システムの構築を推進し、評価結果をフィードバックするシステムを確立する</p>	<p>○活動状況報告並びに活動計画策定・提出等の定例化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認証評価の第3クールが始まったことに対して、新たな評価基準への対応を進める。 ・2020年度自己点検報告書の作成をする。 ・外部機関に本学の取り組みに対する評価をいただき、次年度に反映する。
2. 情報公開等の推進に関する目標			
<p>広報活動を充実するとともに、法人及び大学の業務運営・教育研究活動に関する情報を公開することによって説明責任を果たしていく。</p>	<p>(1) 教育研究活動及び大学運営の状況等について学外に対し多様な手段で情報を公開し提供する。 (2) 社会に対して説明責任を果たし、大学が保有する情報を可能な限り公開し、大学運営の透明性を確保する。 (3) 大学と高校との信頼関係を深める広報の仕方や体制の検討を推進する。</p>	<p>○活動情報の適正な発信を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学ホームページリニューアルに伴い、研究ページを新たに設け、研究センターニュースを掲載していく。 ・科研費で本学教員が研究代表者となっている研究活動を紹介するページを作る。